

POTT in 種子島

【研修会報告】 オンライン事前研修11月11・18日

主催：社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター 摂食嚥下WG 講師：POTTプロジェクト代表日本赤十字広島看護大学名誉教授 迫田 綾子 先生
共催：NPO法人メッセンジャーナースかごしま 後援：POTTプロジェ 演習サポート：NPO法人メッセンジャーナースかごしま 代表理事 田畑 千穂子 先生

日時：2022年11月26日(土) 9:45 ~ 12:00 会場：種子島医療センター 4階大会議室

参加者：20名+ファシリテーター5名+種子島医療センタースタッフ (準備・調理等)

プログラム：ポジショニング・食事介助の演習 (ベッド・車椅子でのポジショニング)



まずは迫田先生からの
デモスト開始★



利き手側に立っての
介助は基本中の基本です★



ポジショニング
マスター頑張るぞ！！



最後はみんなでPOTT
お疲れ様でした☆



グループに分かれて
さっそく実技体験開始☆
患者役、介助者役・
ファシリテーターがサポートします！

参加者感想 (抜粋)

自分の知らない事や体験をして相手側の気持ちなどを知る事ができた。ポジショニングがしっかりする事で食事を食べられる事や誤嚥防止したりと、自分にとっていい勉強になりました。

ポジショニング準備が大事。食べ物が見えること。姿勢全体を確認し、背抜き・足抜き・腰抜き、大事だと気づきました。正しい食べ方、楽しい食べ方を学び納得できて良かったです。

身近にあるものでできることや基本の大切さを再確認できました。介助の仕方と身体とうごきや精神面がとてもちがうことがおどろきでした。ふだんの仕事でも取り入れて実践していきたいです。

姿勢、ポジショニングでこんなに飲み込みに影響があると思っていませんでした。とても勉強になりました。施設ではベッドで食事をする方は少ないですが、以前いた方を思い出しながら体験できました。施設全体に周知したいと思います。

実技演習が多くてとても勉強になりました。今までもポジショニングや誤嚥性肺炎予防には特に力を入れているので、多職種で学び、患者様の為になる関わりをしたいです。リハ職、看護、助手など全員でよりよい食事環境をつくっていきたくです。

今まで考えなかった部分まで考えることができ、ポジショニングの大切さを改めて知ることができました。これから役立つスキルなどを多く学ぶことができました。患者役になったときは多くのことを感じる事ができました。伝承すれば多くの人ができるようになると思いました。

* 今後12月各部署で伝承実施、1月は2回目の評価会を計画中。他施設利用者さんのポジショニングは効果をみんなで体感されています。